

思い出の1ページ



六栄小学校

車いすを体験しました

4年生は、「総合的な学習の時間」を使って福祉について学びました。9月15日㊦に社会福祉協議会の人をお招きして、車いすに乗ったり、車いすを介助したりする体験学習を行いました。子どもたちは「車いすに乗って困っている人がいたら、ぜひ手伝いたい」などという感想を口々に話していました。体験しないとすることができない学習に取り組むことができました。



町探検に行きました

3年生は社会科の学習で「町探検」をしました。町探検の学習は3回に分けて行い、校区をすべて学習することができました。子どもたちは地図記号を学習して、地図を少しずつ読めるようになってきており、とても意欲的に学習に取り組むことができました。9月10日㊦の町探検では「マルエイ六栄店」を訪ねさせていただき、スーパーマーケットの工夫や働く人の願いなどを真剣に聞き、たくさん質問することもできました。これからは学んだことをもとにして校区の地図をつくってまとめていきます。



腹赤小学校

防災教室はじまる

本年度から、腹赤小学校にも学校運営協議会（コミュニティスクール）が設置され、その大きな取り組みが「防災教育の強化」です。

その基本的な考え方は、学校と地域、保護者が連携して自分たちの命を守る、助け合う仕組みを創り上げていくことにあります。

そのためには、子どもたち自身も、常に「防災・安全」の意識を持って、主体的に生活する資質や能力を育むことが重要であると考えました。

学校のリーダーになる5、6年を対象に、総合的な学習の時間を使って「水害が起きたら、どう対応するか」ということをテーマに、学習を進めていきます。自宅のまわりの様子、学校までの経路、その途中の危険箇所を自分の目で確かめ、ハザードマップなどの資料で調べ、いつ、だれが、どのように対応すればいいのかを学びます。



「災害のおそろしさを学ぶ」



「登下校の危険箇所を考える」

9月9日㊦は、本校学校運営協議会委員で防災士の徳永伸介さんをお招きして、導入の学習を行いました。学習内容は次のようなものでした。

①災害のおそろしさ、被害の様子を学ぶ。

・さまざまな資料や映像をもとに、自分の身の回りにも危険が潜んでいることを実感することができました。

②地区別に分かれ、地図上に自宅の位置、通学路、危険だと思われる場所を話し合いながら記入する。

（災害図上訓練：DIG）

・どの道ならば安全に行き来できるのかななどを考え、話し合うことで「自分の目で見て確かめたい」という意識が強くなりました。

この学習をスタート地点として、自分たちで自分の校区を見つめ直し、安全安心な生活を求めようという児童を育てていきます。

そして、11月21日には、地域合同防災訓練を実施します。そのときに地域の皆さんや保護者の皆さんに学習の成果を発表する予定です。